



GMG ProofControl

GMG ProofControl とリモートプルーフ

GMG ProofControl はプルーフを迅速かつ確実に検証します

GMG ProofControl は、常に客観的にプルーフを分析し、カラーコミュニケーションにおけるカラースタンダードを保障するためのリファレンスにします。詳細な測定プロトコルは世界中で認められており、場当たりの色の良し悪しを数値判定によって回避します。GMG ProofControl は、印刷物制作のための安全性、安定性を保つためのリファレンスです。

Plug & Verify プラグアンドベリファイ

GMG ProofControl には、すべての国際規格と共通のコントロールストリップが含まれています。これにより、プルーフラベルで検証する前に、プルーフが業界標準の許容範囲内にあるかどうかを簡単に確認できます。



OK チェックマーク

色の精度が測定され、確実にレポート化されます。

プロセスは信じられないほど簡単です。コントロールストリップを印刷して測定し、確認します。緑のチェックマークが表示されたら、プルーフは正しいと確認されます。ラベルプリンタから出力された OK チェックがプルーフに貼付され、コントラクトプルーフであることを証明します。測定装置を内蔵したプリンターでは、プルーフ検証も自動化できます。

軟包装印刷

個々の色調整は、パッケージ印刷の日常業務の一部であるため、特別な品質管理が必要です。GMG ProofControl を使用すると、自社基準をカスタム標準として作成および保存して、クライアントが合意した標準に基づいてジョブを検証できます。これにより、一貫した結果と満足のいくプルーフ出力が保証されます。



プリテックステージニュース広告ページから加筆

昨年4月頃からコロナ感染自粛、テレワークというキーワードからか、これから数年先も見据えて、季節に応じて自粛を強いられる可能性もあることからか、GMG ColorProof、GMG DotProofXGの機能の一つ、リモートプルーフへの問い合わせが多くなってきている。本社製版部門ー支社営業所の間で、あるいはクライアント先事務所に GMGColorProof、DotProof XG、Epson 製水性インクジェットプリンタを設置することで人の動きに制限されずに安全に、かつ時間、コストの削減を目的として校正刷りを提出したい、というのが理由のようだ。

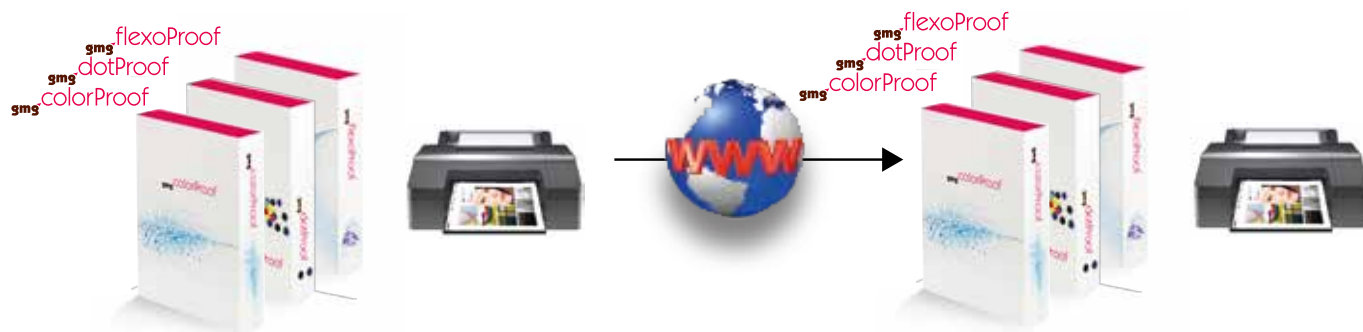
GMGを使用する多くの製版現場の認識では、初校、再校出力時の色調直し箇所以外の色差がほぼ無い、いわゆる $\Delta E = 1.0$ 以内の精度を保てる性能ということで高評価を獲得しているわけだが、この安定した状態を保ちながら、遠隔地でも同様の精度を保ちながら校正刷りを出力する方法が GMG リモートプルーフである。

では実際のリモートプルーフを実現するための設備は？単純だが最小単位で2セット必要になる。

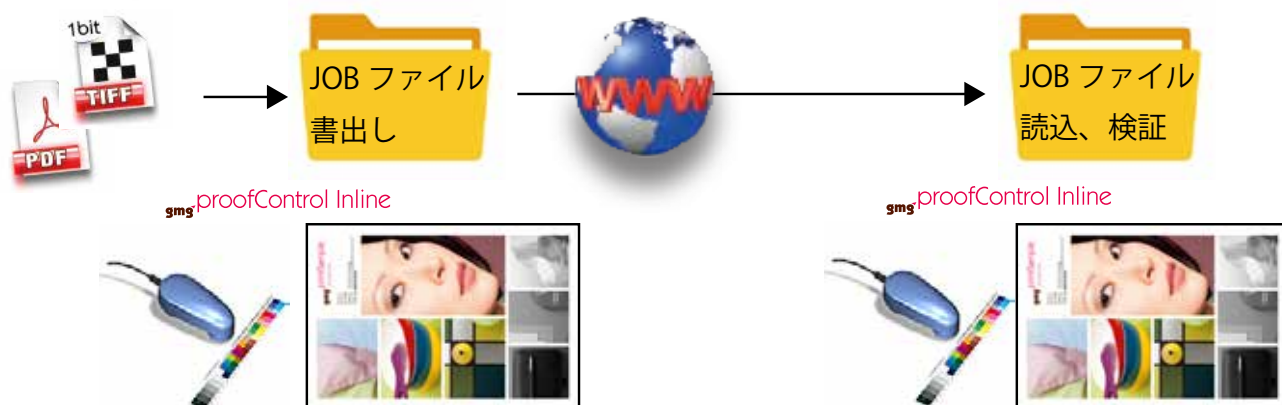
- PC
- GMG ColorProof(DotProofXG)
- 自動測色器マウンタ付き Epson SC-P シリーズ
- ProofControl Inline

上記を各拠点に設置することが必要となる。

あとはインターネットを経由しながら機密性を保つ VPN などでネットワークを構築する必要がある。



スケジュール機能と自動測色、GMG キャリブレーション機能によって出力条件を安定させる



GMG ソフトウェア上のワークフローは一旦設定してしまえば自動で処理される。各プリンタは自動測色器とスケジュール機能で定期的にキャリブレーションを実行することで無人で安定性を維持できる。常にプリンタキャリブレーションが実施された状態を維持しながら、ソフトウェア設定は、送信側、受信側共に全く同じ条件のホットフォルダ+ワークフローを設定することが必要になる。具体的には送信側ホットフォルダに入った PDF、1bitTiffなどを Job 情報として書出しを行う。さらに通知機能を使って受信側担当者宛にメール通知も可能だ。そして、VPN などの仮想専用線経由で受信側ホットフォルダが Job を受信、Job 情報からメディア条件、プリンタ条件、データ条件、プリンタに対するキャリブレーション条件、プリンタコンディショ

gmg proofControl



ンなどの検証を経て受信側プリンタから出力される。出力時のカラー標準検証は ProofControl Inline が精度保持を支援する。つまり、双方のプリンタキャリブレーションはOK でも実際に出力された出力物の数値的裏付けがなければ正しいプルーフかどうか判別がつかない場合、出力と同時に求められる検証結果は特に重要で、いわば保証書付きのプルーフが提供されるのである。



GMG ProofControl 技術仕様

必要ソフトウェア構成		機能	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 10	適用印刷標準	JC2011,ISO Offset 27L-32Lと39L-40L,ISO News-26と30,3DAPv2,GRACoL2006#1,SWOP2006#3と#5,PSR Gravure(ECI)HWC,LWC,MFおよびSCに関するターゲット値,新旧ISO12647-7許容値との評価可能
必要ハードウェア構成		対応計測器	X-Rite i1, i1 Pro/Pro2 ,UVカットオフフィルター付き・なし HP Designjet Zシリーズ、EPSON PX-Hシリーズ搭載の測色器 Epson SC-Pシリーズ搭載の測色器
プロセッサ	Intel Core i7CPU、クロック周波数 3GHz以上	対応ラベル出力装置 (オプション)	Zebra TLP 2824 Plusラベルプリンタ Dymo Labelwriter 400/450
メモリ	256 MB RAM 5 GBハードディスク		
ハードウェア	CD-ROMドライブ、2×USBポート、スクリーン解像度 1024×768 dpiのTrue Colorグラフィックカード		
機能			
対応言語	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、簡体字中国語、日本語		